

シリコンバレーで、いかに起業するか 挑戦、挫折と再起

プログラム

13時30分～13時40分【挨拶】

洞口治夫 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授、法政大学イノベーション・マネジメント研究センター所長

13時40分～14時40分【講演 1】

「事業計画の立案と提案」 “10 important slides in your investor pitch”

Deborah Grove (デボラ・ピュレ・グローヴ)氏 Introplus社CEO

略歴 Warner Brothers International 社および TRW International 社に勤務の後、1981年に香港でオフィス・オートメーションのコンサルティング会社である Office Automation Asia 社を創設した。同社は、International Data Corporation 社 (IDC) によって買収され、グローヴ氏は引き続き IDC Asia のマネージング・ディレクターを勤めた。2002年、Introplus社を創業し、オンライン・コミュニティへのソーシャル・ネットワーキング・ソリューションを提供。女性起業家に関連する数多くの NGO を支援するとともに、美術家としても活躍している。
UCLA 卒業。The American Graduate School of International Management 修了。

14時40分～15時00分【質疑応答】

15時00分～15時10分【休憩】

15時10分～16時10分【講演 2】

「シリコンバレーの起業経験」 “My life as an entrepreneur in Silicon Valley”

Michael Grove (マイケル・グローヴ)氏 Open Country社CEOおよび会長

略歴 Open Country 社は、データ、システム、サービスのソリューションを自動的に管理するIT企業である。同氏は、Centura Software 社に勤務。Micromodule Systems 社の創業およびCEOを勤め、4600万ドル(約54億円)の収入を記録した。同氏はまた、The Pathway Group社の共同創業者であり、技術戦略およびM&Aのコンサルティングを行った。ロッキード社においては、社内ベンチャーの担当部長を勤めた。
カリフォルニアポリテクニク大学卒業(工学および数学学士)。ウォートン大学エグゼクティブ・ファイナンス・プログラム修了、UCLA・MBA取得。

16時10分～16時40分【質疑応答】

司会 洞口治夫

主催：法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 協力：法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

日時

2005年12月15日(木) 13:30～16:40

会場

法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー 25階
イノベーション・マネジメント研究センター セミナー室

参加費

無料

定員

20名(先着順) **イノベーション・マネジメント専攻の方は、申込は不要です。**

申込方法

氏名、所属、連絡先の電話番号・FAX番号、E-mailアドレスを明記の上、FAXまたはE-mailで法政大学イノベーション・マネジメント研究センター宛にお申し込みください。締め切りは12月14日です。

個人情報の扱いは厳重に管理しております。当研究センターに関連するイベント開催等の通知を目的としており、それ以外の目的では使用していません。

申込先

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター FAX:03(3264)4690 E-mail:cbir@i.hosei.ac.jp

その他

日英同時通訳付き。なお、お車でのご来場はご遠慮ください。